

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和 7年11月20日 (木)
クラス名(年齢)	きりん組(4歳児)

## 1、活動テーマ

<テーマ>

音の伝わりを知る

<テーマの設定理由>

責任実習の制作中、紙コップと糸を見て糸電話が出来ることに気が付き、子ども同士でくっつけ楽しんでいる姿を見て、実際に作って音の伝わりを調べてみた。

## 2. 活動スケジュール

糸電話の作り方を考え自分達で作る。その後どうすれば相手に声が届くのかを遊びながら考えた。

## 3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

紙コップ、セロハンテープ、ハサミ、風糸

## 4、探究活動の実践

<活動内容>

どのように作るかを子ども達に問いかけ、説明してもらった。その中で必要な材料を用意し、実際に作ってみた。実際に使って遊び、相手に声が届いているのか試した。大きな声ではなく、小さな声で話して、相手に伝わるためにどうすればいいのかも考えていった。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 糸電話を作る。糸の長さも自分達で考えた。



② どうやって使うのか考えて、使ってみた。相手に聞こえるために大きな声を出していた。また距離も近かった。



③ 子『指で糸をおさえたらきこえるんじゃない?』と言い、糸の真ん中を指で押さえて話をしていた。



④ 糸を張って音が聞こえたことを伝えた。子『こうかな?』『こうかな?』と自分達で距離を測りながら糸を張り、聞こえる部分を探していた。



## 5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

糸の張り具合で聞こえる聞こえないがあることを子ども達と知ることが出来た。子ども達も小さな声で聞こえるかゲームのようにして楽しんでいたので、伝言ゲームのようにしながらクラスでも楽しめるようにしていこうと感じた。また声の高さなどで聞こえる聞こえないにもあると思う。子ども達が気が付けるように楽器なども使いながら行って行きたいと思う。